

令和３年度「学ぶ力」育成プログラム			学校番号：３２０１２ 学校名：札幌市立上篠路中学校
改訂のポイント		○学んだことを活かし、意味理解を伴った知識・技能を活用する力を育む指導方法の工夫・改善に取り組む。 ○「わかったこと」「できるようになったこと」を実感でき、「問題解決に向かうことができる」学習への授業改善に取り組む。	
項目名	項目内容	項目内容の具体	
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆【学ぶ意欲】進んで課題解決に向かうことができる生徒。 ☆【活かす力】既習の知識・技能や経験などをもとに、互いの考えや意見など、思考を関わらせ、協働によって課題解決に向かうことができる生徒。 ☆【学んだ力】学んだ知識・技能を、意味理解を伴った知識として習得し、課題解決に活かすことができる生徒。	
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ○学習課題を自ら設定し、進んで解決しようとする場面の設定。 ○視聴覚機器の活用や「対話」による授業を通して「わかる」「できる」経験をすることで「楽しい」と感じる授業の推進。	【成果】 ⇒「札幌市全体の共通指標」では「主体的に学習に取り組む態度」のポイントが、令和元年度との比較では増加しており、改善傾向にあるといえる。 【課題】 ◇「わかる」「できた」など生徒が学びを実感できること。 ◇家庭学習での復習の習慣化を定着させること。
	思考力・判断力・表現力 等	【昨年度の具体的な取組】 ○思考の揺さぶりによって自らの考えをより深く考え直し、自己の思考を再構築する場面のある授業の推進。 ○「対話」を重視し、「思考を問う発問」の工夫による、生徒の思考を引き出す授業の実践。	【成果】 ⇒「札幌市全体の共通指標」では、「授業中、自分の意見を進んで発言している」のポイントが昨年度よりも若干上昇し、32.1％である。 【課題】 ◇「なぜ」「どうして」という根拠を明確にすることで、課題を解決に導く授業の工夫が必要。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○学習スペースの設置・活用、放課後や長期休業中の学習会の実施による「学びを支える環境」づくり。 ○「学びを支える力」としてのリーディングスキルの向上につながる語彙力や読解力などの言語能力を育てる指導の充実。	【成果】 ⇒「札幌市全体の共通指標」では、「習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う」と回答した生徒が95.6％と高い水準で推移しており、活用できる知識・技能の習得意識が高い。 【課題】 ◇学習に向かう姿勢や課題への取組はよいが、基礎的・基本的な知識・技能の習得を確かなものにする学習の工夫が必要。
改善策（取組） 今年度の具体的な	取組の最重点	【取組の共有】 学んだことを活かして問題解決に向かうことができる生徒の資質・能力の育成	
	具体的な改善策（取組）	学ぶ意欲 ○ICT（一人一台端末等）を活用した学習活動の充実。 ○「わかったこと」「できるようになったこと」を実感できるための「授業の“めあて”の明確化」と「振り返りの場面のある授業」の推進。 活かす力 ○「深い学び」を実現するために多面的・多角的に考え、他者との思考の関わりによって自分の考えを見直し「思考を再構築」する学習展開の推進。 ○習得する知識・技能や活用する知識・技能を明確にするための単元構成の構造化と「見方・考え方」を生かした学びの実現。 学んだ力 ○「学びを支える環境づくり」として、「身近に学びがある環境」のさらなる充実に加え、「学習習慣の形成」に力を入れた取り組みの推進。 ○「学びを支える力」（リーディングスキル、自制心、学習習慣、自己の変容の認知など）の育成。	
方法 検証の	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用【全学年実施】 ○全国学力・学習状況調査の結果・分析 ○各種テスト（学力テスト・NRT・サポート・定期テスト）の結果・分析 ○各教科等の評価基準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等）	

